



## 顧客本位の業務運営に関する取り組み状況

2018年3月現在

UBS アセット・マネジメント株式会社

### 1. Client Experience 向上会議の新設

当社では、「顧客本位の業務運営を確立するための取り組み方針」に基づく取り組み状況の推進・モニタリング等を行う機関として、2017年10月に「Client Experience 向上会議」を新設いたしました。

当会議は、社長を議長とし、「顧客本位の業務運営に関する原則」の採択に向けて組織されたワーキング・グループのメンバーを中心に会議体を構成し、当方針に基づく具体的な取り組みを推進、進捗状況をモニタリング、評価を行い、その結果について年1回以上公表を行います。また、必要に応じて改善策や新たな取り組みの検討も行っております。また、当会議が中心となって、当社の「顧客本位の業務運営を確立するための取り組み方針」そのものについても年1回以上の見直しを実施します。過去2回の会議では、異なる視点からの意見を取得し、より幅広く顧客ニーズを考える目的で、部門や世代を超えた社内横断的なサウンディング・ボードを招集、投資家であるお客様に、より分かりやすい情報提供を行うために、販売用資料や目論見書のさらなる改善について意見交換を行い、継続的な改善につなげております。

### 2. 「重要な情報の分かりやすい提供」への取り組み

投資家であるお客様が、投資目的とそれにかかるリスクを十分に理解して投資できるよう、より分かりやすい情報提供を行うことは運用会社として重要な使命であると考えています。そのために、当社が作成する販売用資料および目論見書のさらなる改善に順次取り組んでおります。

具体的な取り組みとしては、より分かりやすく運用商品の特性を説明する表現やデータ、図表の導入、的確に商品のイメージを伝える図表や写真の利用、読みやすいフォントの使用などを推進しております。

### 3. 商品会議の公式化: プロダクトレビュー会議

これまで、自助努力的な位置づけで実施していた「商品会議」を公式化し、「プロダクトレビュー会議」といたしました。

従来の商品会議では設定後一定期間を経過したファンドに重点をおいて、『ファンドの持続可能性』や『顧客満足度』を中心にして状況を確認しておりましたが、「プロダクトレビュー会議」では、設定後一定期間を経過した『ファンドの持続可能性』や『顧客満足度』に加え『適合性の確認』など、より網羅的かつ各確認項目を深掘りした検証を行い、投資家であるお客様のニーズを満たす質の高いサービスを継続的に提供していることの確認を実施しております。

また、1年に1度、当社が提供している全てのファンドに関して同様の検証を実施しております。



#### 4. リスク委員会におけるモニタリング項目の追加

当社では、経営上ならびに業務上のリスクの分析、モニタリングおよび管理状況の確認などの総合的な評価および検討を行い、必要に応じて改善策等を講じる目的で、定期的にリスク委員会を開催し、様々な観点から各部門が率先してリスクを抑制する取り組みを実施しております。

リスク委員会では、当社が提供しているファンドについて、運用ガイドライン遵守状況や取引先相手のリスクの確認、市場リスクの監視だけではなく、各ファンドリターンにおいて想定するリターンからの乖離状況等をモニタリングしておりますが、この度、各ファンドのリスク調整後リターンについてのモニタリングを追加して行い、適宜改善策等を協議・検討する態勢を強化いたしました。

以上